

施策評価シート（令和2年度 実績）

基本目標	地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる
------	-----------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	地域農林業の活性化		評価者	都市部長		
施策内容	食糧の自足だけでなく地域環境の保全の観点からも、農林業に対する取り組みは重要であると認識し、新規就農者の確保や特産物の普及、有害鳥獣対策など、多方面からの支援を実施します。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	農業振興事業	適当	有効だった	計画どおり新規就農者の実績を積み上げることができた。	
	2	遊休・荒廃農地対策事業	適当	有効だった	農地の所有者に対して、遊休・荒廃農地の解消を促進した。	
	3	特産物普及奨励事業（農業再生事業）	適当	有効だった	特産品の拡大しているため、生産量の増大も進めていく。	
	4	有害鳥獣対策事業	良好	有効だった	広域防護柵の設置等により、イノシシの捕獲数が過去最大値となった。	
重要業績評価指標（KPI）①	指標名	新規就農者数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	2	2	2	2	A
	実績		2			
	分析	計画通り推進できた。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-		
重要業績評価指標（KPI）②	指標名	町内オリーブの生産量（トン）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	1.1	1.5	1.8	2.1	B
	実績		0.9			
	分析	生産量の向上を見込んだが、台風の接近、長雨などの影響により、達成することができなかった。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-		
重要業績評価指標（KPI）③	指標名	有害鳥獣の捕獲数（頭）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	57	120	100	100	A
	実績		124			
	分析	過去最大規模の捕獲頭数となった。今後の推移に注視したい。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-		

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保に努め、計画どおりの実績となった。 ・遊休・荒廃地の解消を図りつつ、広域防護柵の設置等により、有害鳥獣であるイノシシを過去最大に捕獲することができた。 			
	課題	①オリーブの生産性の向上を図ることが必要である。			
	改善点 <small>（課題番号に対応）</small>	①オリーブの高付加価値化を図ることが急務である。 オリーブオイルの地域団体商標登録を目指し、取り組んでいく。			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
	<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった	

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<p>● オリーブについては、近隣自治体と連携し認知度アップを図り、湘南オリーブオイルの地域団体商標登録を目指すなど、地域産業活性化や町の魅力向上につながる象徴的な取り組みを推進していることは評価できる。一方で、生産量が確保できないことで、商品数などが限定的になっていることから、遊休荒廃農地の活用も含めて、生産量の増加を図る必要がある。</p> <p>● 特産物の活用については、オリーブと他の特産物を融合させるなど、町の特性に併せ柔軟な商品開発に繋げていくことが重要である。</p> <p>● 新規就農者の確保について、就農するための様々なハードルがあるため、農業を始めるきっかけを促すなど、町での農業機運を高めるような取り組みも考えられる。</p>			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名		行政評価の方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の今後の方向性	1	農業振興事業 (担当課：産業振興課)	現状維持	継続推進	・新規就農者の確保について、農業を始めるきっかけを促すなど、町での農業機運を高めるような取り組みも検討する。
	2	遊休・荒廃農地対策事業 (担当課：産業振興課)	現状維持	継続推進	・担い手の確保や農地の集積などと連動させながら、遊休、荒廃農地解消につなげていく。
	3	特産物普及奨励事業 (農業再生事業) (担当課：産業振興課)	要改善	見直し	・オリーブオイルの地域団体商標登録を目指し取り組む。 ・オリーブの生産量の計画値と実績が乖離しているため、生産農家の状況等を踏まえ計画を見直す。 ・遊休荒廃農地の活用も含めて、オリーブの生産量の増加を図る。 ・オリーブと他の特産物を融合させるなど、町の特性に併せ柔軟な商品開発に繋げる。
	4	有害鳥獣対策事業 (担当課：産業振興課)	拡大・拡充	継続推進	・自主防除に対する補助を継続的に行うとともに、町有害鳥獣対策協議会等と連携した広域防護柵設置等を進める。